株安を受けた為替市場の動向について

2015年8月25日

<多くの通貨が対米ドルで下落>

為替市場では、このところ対米ドルで多くの国の通貨が下落に見舞われました。およそ2週間前に中国が人民元の事実上の切り下げを実施したことで、世界的な通貨安競争に拍車がかかるのではないかと懸念が生じていたことに加えて、中国の天津における大規模な爆発事故がさらなる景気不透明感を高め、中国株式市場の再度の急落が世界的な株式市場の下落幅拡大を招いた結果、為替市場においてもリスク回避姿勢が急速に高まりました。また、中国を初めとした世界経済の減速懸念が、原油などの資源価格の急落を招いたことも影響しています。

<中国への輸出依存度が高い国の通貨が下落>

リスク回避姿勢が高まった主因が中国の景気不透明感だったため、中国への輸出依存度が高い国の通貨の下落幅が大きくなる傾向となりました。豪ドルは、一時は1豪ドル=0.70米ドル台と2009年以来の安値となり、ブラジル・レアルは1米ドル=3.55レアル台と2003年来の安値を更新しました。また、韓国ウォンは2011年以来の1米ドル=1,200ウォン近辺の米ドル高ウォン安となるなど、その影響は多くの同じアジア圏の通貨に及びました。

<資源国通貨も下落>

原油価格の下落が続いたことで、ロシアやメキシコなど歳入におけるエネルギー依存度が高い国の通貨も下落しました。カナダは中国への直接の輸出割合が低いにもかかわらず1カナダ・ドル=1.33米ドル近辺と、2004年以来の対米ドル安値水準となっています。

<リスク回避姿勢の高まりによる円高>

世界的な株価下落が投資家のリスク回避姿勢を高めた結果、米ドル円相場も一時1米ドル=116円台と、短期的に大幅な円高が進行し、今年1月以来の円高となりました。その結果、上記の通貨の対円相場も下落し、ブラジル・レアルは2003年来の、豪ドルは2012年来の、カナダ・ドルは2013年来の、韓国ウォンはほぼ1年ぶりの安値となっています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<今後の見通し>

世界的な株価の急落により、リスク回避姿勢が急速に高まったことが、投資家の各国通貨の売りを招いていると考えられます。中国の景気不透明感は以前からある程度は市場に共有されており、世界的な株価を持続的に大幅に押し下げる材料とまでみなすことは困難と思われます。株価の急落からの連想により、リーマン・ショックのような甚大な経済危機への懸念が頭をもたげやすいものの、マクロ経済指標からは世界的な需要の大幅な後退の兆しが乏しいこと、先進国の金融システムへの不安が高まる可能性が低いことなどから、株式市場が安定感を強めれば、投資家は徐々に落ち着きを取り戻すことが想定されます。また金融市場の不安定感が残存した場合、米国の利上げ開始の先送りや、日本やユーロ圏の追加的な金融緩和観測が高まりやすく、それ以外の通貨の下支えになることが期待されます。

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会